

「救急ボイストラ」の全国の消防本部への提供開始

救急企画室

1 はじめに

近年の訪日外国人観光客の増加に伴い、救急隊が外国人と接する機会も多く、救急現場では一刻も早い対応が必要なため、円滑なコミュニケーションが求められています。

総務省では平成28年に災害時に情報が十分に届いていないとされる外国人や高齢者に、確実に情報伝達の環境整備を図ることを目的として「情報難民ゼロプロジェクト」を立ち上げました。

プロジェクトの一環として、総務省所管の消防研究センターと情報通信研究機構（以下「NICT」という。）が、救急隊用の多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」を開発しました。

2 救急ボイストラの概要

NICTが開発した多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra(ボイストラ)」をベースとして、救急現場で使用頻度が高い会話内容を「定型文」として登録し、外国語による音声と画面の文字により円滑なコミュニケーションを図ることが可能となるものです。

また、定型文以外の会話でも、音声翻訳が可能となっています。さらに、話した言葉が日本語文字として表記されることから、聴覚障害者などとのコミュニケーションにも活用できます。

なお、通信料は利用者負担となりますが、同アプリのダウンロードや利用料は無料です。

対応言語は以下の15言語となっています。

- (1)英語(2)中国語(3)韓国語(4)スペイン語(5)フランス語(6)タイ語(7)インドネシア語(8)ベトナム語(9)ミャンマー語(10)台湾華語(11)マレー語(12)ロシア語(13)ドイツ語(14)ネパール語(15)ブラジルポルトガル語



救急ボイストラ使用状況

3 展開

2017年4月21日（金）から各消防本部への提供が開始され、Androidを搭載した通信可能なスマートフォンやタブレットからダウンロードが可能となります。iOS版については、2017年度中にダウンロードが可能になる予定です。

4 おわりに

「情報難民ゼロプロジェクト」の一環として、「救急ボイストラ」の全国消防本部への提供のほかにも、外国人向け救急車利用者ガイドをホームページへ掲載し、利活用を促進するなど、外国人が安心して救急サービスが受けられるよう取組を進めております。

今後、「救急ボイストラ」などのコミュニケーションツールが救急現場で活用されていくとともに、災害時はもちろんのこと、様々な情報が日本にいるすべての方々へ正しく、迅速に届けられる「情報難民ゼロ」の社会となることを期待します。

問い合わせ先

消防庁救急企画室 小川
TEL: 03-5253-7529



救急ボイストラの画面変遷図

